

能と狂言

鏡仙会
TESSENKAI

青山能

2024年10月23日(水)
午後6時30分開演(午後6時開場)
会場 鏡仙会能楽研修所

狂言

太刀奪

野村 裕基

能

錦木

谷本 健吾



鏡仙会青山能〈10月〉

2024年10月23日(水) 午後6時30分開演

仕舞 通小町 船橋

西村 高夫
浅見 慈一

狂言 太刀奪

シテ 太郎冠者 野村 裕基
アド 主 中村 修一
小アド 通りの者 飯田 豪

能 錦木

前シテ 男ノ亡霊 谷本 健吾
後シテ 女 鶴澤 光
ツレ 旅僧 御厨 誠吾
ワキ 従僧 則久 英志
ワキツレ 〃 野口 琢弘
アイ 里人 野村太一郎
〃 笛 八反田 智子
小鼓 鳥山 直也
大鼓 原岡 一之
太鼓 大川 典良
地頭 馬野 正基

太刀奪

北野神社に参詣に出た主人と太郎冠者。道中、太刀を持たぬ主人のため、冠者は往來の者が持つ見事な太刀を奪ってしまおうと近付く。しかし逆に脅され、主人の大事な小刀を奪われてしまう。

逃げ帰った冠者は小刀を取り戻すため主人とともに男を待ち伏せすることに。やがて現れた男を主人が後ろから羽交い締めにして、男に縄をかけるよう冠者に命じるが、そこから冠者は悠長に縄を緬い始め…。

錦木

陸奥、狭布の里で旅の僧は夫婦らしき男女と出会う。男は美しく彩り飾った木の枝を手にしており、これは男が思いを寄せる女の家の門に立て、女はそれを受け入れるしるしとして家に取り入れるという、この辺りに古くより伝わる風習に使う錦木というものだと言われる。

またある男が三年間毎日女の家の門に錦木を立てかけたのだが、遂に女はそれを取り込まず、やがてその男は女を恨みつつ死んでしまったのだと語ると、死んだ男を葬った錦塚へと僧を案内し、消え失せてしまう。

やがて男女の霊が現れ、昔の有様を再現するように男は錦木を門に立てかけ、塚の内の女に呼びかける。男は実らぬ恋の恨みを述べるが、遂に僧の回向に感謝して喜びの舞を舞うのだった…。

錦木という風流な風習をもとにして多くの和歌とともに男女の恋物語を描いた能。

〈午後8時45分頃終演予定〉

終演後に能楽小講座あり。
その日の演目を中心に、能楽師が初めての方にも
分かりやすくお話し致します。

◎より詳しい解説を鏡仙会ホームページにて順次公開しております。
ご観能前には是非ご覧下さい。
※携帯電話等、音や光の出る機器の電源は予めお切り下さい。
※無許可の写真撮影、録音、録画は固くお断り致します。
※客席内での飲食はご遠慮下さい。

会場：鏡仙会能楽研修所(全自由席)

〈交通〉地下鉄 表参道駅下車
(銀座線・千代田線・半蔵門線)
A4出口より徒歩3分
〒107-00062
東京都港区南青山4-21-29
TEL03-3401-2285

※駐車場はございませんので
お車での来場はご遠慮下さい。

入場料：一般4,500円

U25(25歳以下) 2,200円
ベンチー5,000円

回数券 定期公演・青山能共通 / 5枚綴り
一般回数券 22,000円

U25(25歳以下) 回数券 110,000円

※2024年度の定期公演・青山能でご利用頂けます。
ご予約受付中。詳しくは鏡仙会までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ・お申し込み：鏡仙会

電話 03-3401-2285(平日10時~17時)
ホームページ <http://www.tessen.org>
予約受付開始：2024年6月17日(月) WEB 10時 電話 13時

11月8日(金) 午後6時開演

会場：観世能楽堂

能 巻絹

巻絹の奉納に遅れた答で捕われた男は、無天神が憑いた巫女に危機を救われ、大槻 文藏

狂言 鐘の音

金の鐘と鐘の音を取り違えた召使いは鎌倉の名高い寺の鐘の音を聞いて走り、山本 則孝

能 善界

日本の仏法に仇なさんと現れた唐の犬天、狗善界坊と比叡山僧正との激しい争い。観世 淳夫

11月27日(水) 午後6時30分開演

会場：鏡仙会能楽研修所

狂言 六地藏

都て仏像を求めた田舎者が詐欺師にまんまと騙され翌日約束の場所へ行くと、山本 凜太郎

能 自然居士

人商人に連れ去られた幼子を救うため孤軍奮闘の働きをする居士。若菜 光